



会報

56号

デザイン 池田満寿夫

ながの

発行人 峯村清志

編集長 井澤一幸

12月末現在賛助会員数 長野地区 504人 県全体 2,504人

2020年 新春

年頭のあいさつ

あけましておめでと〜うございます

未曾有の被害を出した台風19号で、命を落とされた方々に心より哀悼の意を表します。また、被災された皆様が一日も早く以前の生活に戻れますようお祈り申し上げます。

さて我が長野地区賛助会に於いては、五月十六日に定期総会、六月二十日に親睦スポーツ交流会をサンアツプル体育館で開催し、八月二日には、夏休みこども教室を県庁講堂で行いました。また、九月二十日〜二十二日に飯山市で行われた「信州ねりんピック」には、二十一日に大型バスで参画しました。十月十日にスポーツ交流会としてコスモス長野でマレットゴルフを楽しみ、「賛助会員の集い」は十月十八日に最後の会場となった「県社会福祉総合センター」で盛大に行いました。来年度の会場は「ホクト文化ホール」での開催予定です。十一月二十日にはシニア大生への入会説明会を二年生の授業日の午前中に行いました。

以上、昨年度の事業をおおまかに記しました。

昨年の漢字一文字は、「令和」の「令」と決まりました。令の文字は命という文字にも似ていることと、お互いが敬い合い、尊敬する等の意が込められているそうです。

我が会もお互いを尊敬し合ひましょう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

令和二年 正月

荒井 公

なぜ、ネズミが一番なの

昔、神様が動物たちにお触れを出しました。「元旦の朝私の家へ最初に到着したものから12番目まで、一年間その年の大将にしてあげる」と約束をしました。

動物たちは我こそが、一番になるぞと張り切り、元旦の朝足の遅いウシが誰よりも早く夜明け前に出発しました。すると、牛小屋の天井でこれを見ていたネズミが、こっそりウシの背中に飛び乗りました。それを知らないウシが神様の家に行つてみると、まだだれも来ておらず、門が閉まつたまま。我が一番だとウシは喜び、門が開くのを待ちました。やがて門が開いたとたん、ウシの背中からネズミが飛び降り一番となりました。残念ながらウシは二番目となり、続いてトラ、ウサギ、・・・の順に到着しました。

一日遅れのネコは、番外となりそれ以来ネズミを追い回すようになったそうです。



2019年10月18日(金)

長野地区賛助会員の集い

参加人数 350人 【一般 30人 会員 210人 シニア大生 110人】

自然災害の恐ろしさを他人ごとのように聞いていた昨今、昨年は台風19号により北信地方に大きな災害をもたらし、被災した賛助会員もいると聞く中でしたが、恒例の「賛助会員の集い」が10月18日県社会福祉総合センターで開かれ、各グループが一年間の学習成果を発表する場となりました。派手な衣装に身を包みステージいっぱいに飛び跳ねたり、美声を聞かせる歌声グループに観客が静まり聞きほれる等、現役シニア大生に「人生二毛作劇場」を披露しました。



万年青の会



押し花かすみ草



楽しい切り絵



IT・Sの会



和紙ちぎり絵「あじさいの会」



ふれあい長野ビデオクラブ



出演前の練習風景



オカリナクラブ



吟和会



コール・フォーエバー



シニア太極拳部



スマイル・リフレ



熱心に聞き入る会場

当日会場にて台風 19 号
災害見舞義援金募金箱開設
集計金額 = 5,480 円

直ちに

「長野市ボランティアセンター」へ
ご協力ありがとうございました。

高齢者のふれあいサロン 地域の居場所(まちの縁側)

「芽ぶきの縁側クラブ」 島田 明

シニア大での社会参加の実践授業で取り組んだ「ケーズタウン若里ふれあいサロン」に手ごたえを感じたメンバーが、卒業後もこの活動を続けることを決めて、平成29年卒業と同時に結成したのが、「芽ぶきの縁側クラブ」です。現在は9人のメンバーで活動しています。

活動は、毎月一回、第二木曜日の午前10時～12時まで、「ケーズタウン若里」のいきいきシルバースデーに合わせ、店舗の一階フロアを借りて、高齢者の買い物客を対象に、

グループ活動紹介



お茶を飲んだり話をしたり、血圧測定や健康相談も受けられる「地域の居場所」としての「ふれあいサロン」を無料で開催しています。血圧測定や健康相談には、市の「地域包括支援センター 芹田」の看護師さんをお願いしています。

活動を始めて三年目になりますが、話し

相手のいない一人暮らしの高齢者同士が会話を楽しみ、くつろげる場所として定着し、毎回二時間で30～40人ほどの方が立ち寄ります。来訪者の約半数は「常連客」で、この頃は男性が増えています。お茶請けにはメンバーが持ち寄った漬物や惣菜が中心です。これがまた大好評で喜ばれています。

昼12時で活動を終了し、メンバーで近くのファミレスに移動して、昼食をしながら、世間話に花を咲かせ、これが我々にとつて楽しみでもあり、今後の活動につながると思っています。

編集後記

昨年は、まさかの事が近くで起こり、災害の恐ろしさに恐怖を感じた。今年は何もなく平和であることを願う。

賛助会は年々会員の減少傾向に歯止めがかからないが、原因は幾つかある。シニアの皆さん、先々の為に体が続く限りもっと働きこの一年を健康で元気に活躍ください。

令和2年度 シニア大学長野学部 学生募集

生きがいくくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくり

- ※募集期間 一般コース 令和2年2月3日(月)～3月16日(月)
専門コース 令和2年2月3日(月)～2月28日(金)
- ※募集人員 180名(一般コース) 30名(専門コース)
- ※学習期間 一般コース2年 60時間/年
専門コース1年 35時間/年
- ※授業料(年額) 一般コース12,000円 専門コース26,000円
- ※問い合わせ先 長野県シニア大学長野学部 電話 026-228-7023